

統合計算化学システム

# MOE フォーラム 2012 のご案内



来る7月11日(水)、東京大手町サンケイプラザにて MOE フォーラム 2012 を開催いたします。創薬・生命科学研究のためのシミュレーション・モデリング・解析機能を統合したソフトウェア MOE は、企業からアカデミック分野まで様々な研究現場で広くご活用いただいております。本フォーラムでは、創薬研究の最前線でご活躍されている先生方から最新の研究事例をご紹介いただき、また開発者から研究開発中の新機能を発表いたします。現在 MOE をご利用でない方もご自由にご参加いただけます。皆様のご参加をお待ちしております。

## ■MOE フォーラム 2012 開催概要

2012年7月11日(水) 10:00~17:00(受付 9:30~)

於 大手町サンケイプラザ 301-302

創薬・生命科学研究に携わる方を対象とした、計算化学による研究アプローチの最新事情をご紹介します。MOE のご利用者、開発研究者、サポートスタッフが一堂に集まり、最新の研究事例・開発中の新機能・使いやすさへの提案を発表・議論します。MOEをお使いの方だけでなく、計算化学にご興味のある方にも、最先端の計算化学を把握いただけます。

## ■招待講演

創薬研究の分野でご活躍されている先生方にMOEを活用した研究事例をご講演いただきます。

「*in silico* screening を利用した抗感染症薬の探索研究」  
大阪大学 薬学研究科  
川下 理日人 先生

「核内受容体およびウイルス表面タンパク質を  
ターゲットとした理論創薬」  
立教大学 理学部 化学科  
常盤 広明 先生

「共同研究におけるMOEの活用事例の紹介」  
産業技術総合研究所 生命情報工学研究センター  
広川 貴次 先生

## ■機能紹介

弊社サポートスタッフより、MOEによる解析法のご紹介やMOEの便利な利用法のご提案をいたします。

「3D-RISM法による溶媒解析の応用事例」

「MOE/webを利用したジョブ投入システムのご紹介」

## ■研究開発中の新機能紹介

開発元Chemical Computing Group社より、次期バージョンに搭載予定の新機能について、その理論的背景と開発状況を発表いたします。代表的な新機能として、タンパク質工学のための各種物性予測および評価機能、エネルギー計算の精度に大きく影響する革新的な力場パラメーターの自動構築機能をご紹介します。

"A United Approach to Protein Engineering"  
Director of Scientific Services  
Elizabeth Sourial

"The End of Atom Types? Forcefield Developments in MOE"  
President & C. E. O.  
Paul Labute

## ■詳細・お申し込み

MOEフォーラム2012の詳細や、参加を希望される方は、下記のWebページよりお申し込みください。

<https://secure.rsi.co.jp/kagaku/cs/seminar/moe2012.html>

- ・弊社 Web サイトには、取り扱い製品、最新のニュース、お客様向けサポート情報、他のサイトへのリンクなどを掲載しております。
- ・電子媒体でのニュースレターおよびバックナンバーは下記 URL をご利用下さい。  
<http://www.rsi.co.jp/kagaku/cs/news/newsletter.html>
- ・本ニュースレターは、弊社取り扱い製品をご購入いただきましたサイトの担当者にお送りしています。その他に発送のご希望がございましたら弊社までご連絡ください。
- ・記載されている会社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。

RSI ニュースレター

Vol. 19, No. 3, 2012

2012年7月1日発行

発行人 後藤 純一

発行所 株式会社菱化システム

Copyright © 2012 Ryoka Systems Inc.



株式会社 菱化システム  
科学技術システム事業部

URL: <http://www.rsi.co.jp/>

TEL: 03-3553-9205 FAX: 03-3553-9207 E-mail: [support@rsi.co.jp](mailto:support@rsi.co.jp)